

【東京】

全国に響け、地域応援ソング 国立音大出身のアカペラユニットXUXU

ツイート

B! 0

シェア 0

2018年10月31日

国立音大（立川市）出身の女性三人のアカペラユニット「XUXU（しゅしゅ）」が、全国各地の地域応援ソングを手掛けて活躍の場を広げている。これまでに作った応援ソングは十曲以上。毎年九月に東京タワー（港区）で開かれる「三陸・大船渡 東京タワーさんまつり」では、岩手県大船渡市の「さんりく・大船渡ふるさと大使」として復興支援ソングを披露している。（服部展和）

yukiさん、asukaさん、yumiさんのユニットで、二〇〇二年にメジャーデビューした。「XUXU語」と呼ばれるスキヤットが特徴。ジャズ雑誌「スイングジャーナル」（現在休刊）の人気投票で、〇四年から七年連続でヴォーカルグループ部門一位に輝いた。ライブでは大学の先輩のジャズピアニスト山下洋輔さんとも共演している。

さんまつりが始まった〇九年、さんりく・大船渡ふるさと大使に就任。一一年三月に大船渡市で開催予定だった「全国樺（つばき）サミット」用の新曲「came l i i a ～樺のうた～」のCD千枚を発送直後、東日本大震災が起きた。一週間、連絡が取れなかった知人もいた混乱の中、CDは二十日後に見つかり、売上金を同市に寄付した。

約二カ月後に同市を訪れ、被害の大きさにショックを受けた。避難所で歌に耳を傾ける人やラジオを聴くのを楽しみにしている人たちと触れ合い、「歌うことが使命」との思いを強くした。一三年からは、さんまつりで復興支援ソングを合唱するプロジェクトを始め、毎年百人以上が参加している。

活動は広がり、青森県弘前市から大分県佐伯市まで各地の応援ソングを作ってイベントなどで披露するように。最近は高齢者の誤嚥（ごえん）予防ソングといった新たな試みも手掛けている。リーダーのyukiさんは「人との出会いが支えとなってきた。出会った人たちやこれから出会う人たちのために歌い続けたい」と話す。

各地でライブも開催。三十一日に池袋の「Apple Jump」で、十一月二十一日には国立市の「Harbor Light」で開く。ライブスケジュールの確認や問い合わせは公式ホームページ（<http://www.xuxu442.com>）から。



XUXUの（左から）yukiさん、asukaさん、yumiさん＝渋谷区で

さんま焼き師の絆結ぶ、約60人が参加し初の報告会・交流会／大船渡（別写真あり）



▲さんま焼き師らを対象に初開催した活動報告会・交流会＝大船渡町

大船渡市で平成28年度から行われ、昨年度末までに231人が合格した「さんま焼き師認定試験」。合格者が「さんま焼き師」として全国各地で活動を展開する中、初企画となる「全国さんま焼き師活動報告会・交流会」が14日夜、大船渡町の大船渡プラザホテルで開かれた。市内外から約60人が参加し、活動報告やミニライブなどを実施。参加者らは各地におけるさんま焼き師の活動に理解を深めて今後の参考にするとともに、一大船渡ファンとしても絆を結んでいこうと誓い合った。

各地での活動を紹介

さんま焼き師認定試験は、本州一の水揚げ量を誇る大船渡市のサンマを通じ、全国へ「さんまのまち大船渡、水産のまち大船渡」としての情報を発信するとともに、大船渡市ファンの獲得や地域力の維持、強化を図ろうと、同市観光物産協会（斉藤俊明会長）が主催。

28年度は1回、29年度は2回行われ、大船渡式のサンマ焼き技術を身に付けた合格者らが、さんま焼き師に認定された。今月14、15の両日に行われた4回目の試験には、中学生から一般まで全国の102人が受験。後日、各自に合否が通知されることとなっている。

これまで認定された焼き師の中には、三陸・大船渡東京タワーさんままつりなどのイベントで焼き師を務めたり、地元で大船渡のサンマを焼いて提供する活動を行う人も。さんま焼き師の活動が活発化し、徐々に広がりをみせる中、同協会では焼き師らが親睦を深める機会をつくろうと、初の活動報告会・交流会を開催した。

会には、市内外の焼き師や第4回試験の受験者らが参加。主催者を代表し、斉藤会長が焼き師らの活躍に感謝を表しながら、「活動の情報交換を通じ、大いに交流を深めてほしい」とあいさつ。市の鈴木弘光推進室長が戸田公明市長からのメッセージを紹介した。

乾杯後の活動報告には、焼き師である栗原正明さん（60）＝埼玉県入間市、デラワリ・ケイさん（31）＝神奈川県相模原市、伊藤清一さん（71）＝一関市、鈴木貴晶さん（43）＝愛知県蒲郡市、森谷一弘さん（37）＝宮城県柴田町、米本滋さん＝東京都港区＝の6人が登壇。さんま焼き師を目指した理由、活動内容を紹介した。

このうち、栗原さんは地元のイベント「入間万燈まつり」で大船渡のサンマを提供するため、29年夏の第2回試験を受験。見事合格し、同年10月のまつりでは600匹のサンマを完売したと説明した。今年のまつりでは1000匹の提供を目指すとし、「ぜひ、関東在住の方や岩手からも焼きにきてもらいたい」と呼びかけた。

栗原さんと同じく、第2回試験に合格した伊藤さんは受験時に生まれた縁がきっかけで、県内の介護施設などで焼き師の活動を行ったと紹介。大船渡の早期復興にも心を寄せ、「大船渡が大好き。大船渡のためになれれば」と焼き師として支えていく決意も誓った。

そのほかの報告者も、大船渡への思いをはじめ、さんま焼き師や大船渡のサンマを全国へPRしていくためのアイデアなどを発表。報告者らには斉藤会長から記念品が贈られた。

会では、第4回試験を受けたさんりく・大船渡ふるさと大使のアカベラユニット・XUXU（しゅしゅ）によるミニライブも実施。参加者らはさんま焼き師同士、地域や年齢を超えて親睦を深め合い、大船渡の復興、地域活性化に向けて活動を進めていこうと気持ちを新たにしていた。

試験合格へ「大船渡流」学ぶ、さんま焼き師認定試験（動画、別写真あり）



▲ 4回目の「さんま焼き師認定試験」で炭火焼きの技術を学ぶ受験者ら＝大船渡市魚市場

各地から102人受験

本州一の水揚げ量を誇る大船渡市のサンマを通じ、全国へ「さんまのまち大船渡」の情報発信などを図る「さんま焼き師認定試験」は14日、同市魚市場で始まった。焼き師の認定を目指し、4回目の試験には全国各地から102人が受験。初日はサンマの炭火焼き講習が開かれ、受験者らは実践を通じて「大船渡流」のサンマ焼き技術を身に付けた。2日目の15日は、同じ会場で筆記試験などが行われる。

試験は市観光物産協会（青森俊明会長）が主催。全国へ「水産のまち大船渡」としての情報を発信するとともに、大船渡市ファンの獲得や地域力の維持、強化を図ろうと平成28年度に初実施。これまで3回開かれ、合格した全国の231人が「さんま焼き師」として認定を受け、各地のさんままつりでも活動している。

今回は、地元をはじめ愛知や東京などから受験。さんりく・大船渡ふるさと大使を務め、『オラ！サンマ！』などのサンマソングも手がけるアカペラユニット・XU XU（しゅしゅ）の3人も臨んだ。

認定試験の講師は、昨年「さんま焼き師師範」の第1号認定を受けた大船渡商工会議所職員の田端隆志さん（58）。受験者らは10グループに分かれ、道具の準備から火おこし、サンマの焼き方、提供までの一連の流れを実践した。

田端さんは各グループをまわり、「サンマを焼くときは顔としゃべりを持ち、腹を左側にして網の上に」「サンマの腹で火が出たら、すぐにペットボトルの水で消すように」などとアドバイス。受験者らは助言をもとにサンマをこんがり焼き上げ、一口ほおばると「おいしい」「炭火焼きは違うね」などと満足げな表情を見せた。

盛岡市から来阪と参加した岡田優花さん（16）＝盛岡中央高校2年＝は、「地域おこしをしたいと考えており、その参考にと受験した。サンマを焼いて食べることで交流が生まれるし、大船渡のサンマのおいしさ、本州一の水揚げ量であることも伝えられる。焼き師としての活動ができるよう、あすは合格を目指して試験を通張りたい」と話していた。

講習会後の夜には、大船渡ブラザホテルで初企画となる「全国さんま焼き師活動報告会・交流会」を開催。全国各地の焼き師らが集い、交流を図った。

15日は午前10時から、魚市場でサンマの知識を学ぶ事前研修を実施。同11時から筆記試験が行われる。

XU XU が 4 万円 寄付

東京タワー
さんままつり 継続願い、実行委へ

大船渡

大船渡市のさんま など約4万円をさんま
く・大船渡ふるさと大 さんままつり実行委員
使を務める3人組アカ 会(委員長・戸田公明
ペラユニット・XU XU U(じゅしゅ)が29日、
市役所を訪れ、23日に

東京都港区で開かれた
「東京タワーさんま
まつり」の際に、「XU
XUと歌って大船渡を
応援すっぺしプロジェ
クト」で集まった募金

た。

同プロジェクトは、
「大船渡を応援したい
という人たちがみんな
で歌い、さんままつり
を盛り上げよう」とい
うコンセプトで平成28

年にスタート。6回目
となった今回は、25
90歳までの118人が
参加した。

寄付金は、毎年祭り

終了後に同実行委へ贈
っている。今年は、ま

つり当日に集まった募
金のほか、CDや缶バ
ッジといったグッズの
売上金など総額3万9
669円を寄付した。

この日は、XU XU
の3人が市長室を訪

れ、寄付金と同プロジ
エクト参加者らが書き
込んだ大船渡へのメッ
セージカードを戸田市
長に手渡した。

このあと、リーダー

のYukiさんが「ぜ
ひ東京タワーでのさん

ままつりを継続してほ
しい」と話すと、戸田

市長は「20、30回と(ま
つりを)続けていきた
い」と笑顔で応じ、3

人やプロジェクト参加
者のあたたかい気持ち

に感謝していた。

戸田市長(右)に寄付金な
どを手渡すXU XUの
3人。大船渡市役所



復興支援の新课お披露目、ふるさと大使XUXU「ホタテロック」／大船渡



▲「さんりくるっと」で新课を歌うXUXUのメンバー＝盛岡

大船渡市のさんりく・大船渡ふるさと大使を務める3人組アカペラユニット・XUXU（しゅしゅ）はこのほど、大船渡復興支援ソング「ホタテロック」を完成させ、25、26の両日、同市盛町の市民体育館で開かれたイベント「さんりくるっと」で初披露した。XUXUにとって4曲目となる復興支援ソングは、ロック調で言葉遊びが楽しい一曲となっており、メンバーたちは「この曲を通して、ますます大船渡が盛り上がってくれば」と話している。

XUXUは、リーダーのyukiさんとasukaさん、yumiさんの3人で活動。コンサートやメディア出演などを精力的に行っているほか、毎年東京タワーで行われている「三陸・大船渡東京タワーさんままつり」などで、大船渡をPRしている。

また、同さんままつりのテーマソング「オラ！サンマ！」や、平成23年3月に同市で開催が予定されていた全国博サミットの大会イメージソング「came l i i a ～梅のうた」などを収録した復興支援CD「came l i i a」を販売し、売り上げの全額を同市に寄付するなど、支援に力を入れている。

新课の「ホタテロック」は、同市の漁業者からの「ホタテをテーマにした曲を作ってほしい」とのリクエストから生まれたもので、同イベントに向けて制作された。

歌詞は4番まであり、それぞれホタテや、恋、絆、ホタテ焼き串について歌っている。貝やホタテを連想させるフレーズが多用されるなどの工夫も凝らされている。

作詞・作曲はyumiさん。「曲のためにホタテの生態について調べ上げた」と笑うyumiさんは「主役はホタテだけど、人と人とのつながりがある大船渡と関わってこられたという感謝の気持ちもさりげなく歌えたら」と話す。

福祉施設でのミニコンサートやイベント出演などで定期的に大船渡に訪れているが、メンバーたちは「（大船渡に）来るたびに、復興工事で新しい街ができてきている印象だったが、最近は『大船渡に来てほしい』という思いが伝わってくる。たくさんの希望がある街並みになったと思う」と声をそろえる。新课については「前に進めるような明るいロック。ますます大船渡のみなさんと関わって、応援していきたい」と話していた。

8000人でにぎわう

三陸大船渡さんままつり



生サンマを並べるギネス記録に挑戦した「三陸大船渡さん
ままつり」＝大船渡市魚市場(電子新聞に動画、別写真あり)

大船渡市の大船渡港に水揚げされたサンマを通過し、水産都市・大船渡のPRなどを図る「三陸鮭漁まつり」が、9日、大船渡町の三陸水産市場で開かれた。30回目を迎えた今年、会場には約8000人が詰めかけ、熱気あふれる大規模なサンマ祭り、夏祭り、焼き物や多形な催事を、買参者や子ども達、観光客と市民が協力し、早稲を列で並べたサンマを構成、観目のまつりを喜ばしい「世界一で飾ろう」が実行委員会、佐々木英一、大船渡水産物商業協同組合理事長）が主催、大船渡のまち大船渡

の経済復興協議会（会長・高野次郎市長）が、共同。市の基幹産業である水産業の一層の振興を図り、地場水産物の販路拡大と観光誘客促進などの地域活性化に寄与しようと、昭和61年から毎年開催している。

今年は30回目を迎える市歴まつりから独立し、平成24年度以来の単独開催。魚市場では初開催となった。

開催云々は、佐々木会長のおり、ついで、戸田公明市長の祝辞に続き、テフカット、もちまきを実施。まつりへの開幕を告げた。

会場では、多彩な催事を展開。まつりの代名詞でも知らぬ人へ火焼きコーナンでは、1万円10円で焼きたてのサッポロ2000匹を提供。最長の列ができる人気がなを見せ、世代を超えて熱々のサッポロは好評だった。

鮮魚直売や特産品販売のコーナーには買い物客が詰めかけ、気

新鮮なサツマを何箱も
買い求める姿や、遠方
の親戚、知人に発送す
る人も見られた。

食堂コーナーでは、
サツマのすり身汁やか
は焼き丼、さんまバー
ガー、さんまトルティ
ーヤなどを販売。正午
ごろには完売してしま
う商品もあった。

ステージではライブ
などのショーが繰り広
げられ、生サツマが景
品さんま釣りゲーム
では子どもたちが熱
中。魚市場3階ではさ
かなルメのまちワー
クショップの参加者
らによる、さんま紙芝
居さんま遠路が行わ
れ、人気を博した。

午後には、まつりの
目玉企画「ギネス世界
記録に挑戦」を展開。
「最も長い食用魚の列
として、生サツママー

11匹を、一直接上に並べて世界一を目指すもので、市民や観光客も、このため、市民や観光客も、61人が参加した。

参加者らはスタートの合図に合わせ、用意されたサンマを1匹ずつ台の上に並べた。頭と尾は必ず接触する。この点などのルールに沿って、子どもも大人も熱い、心な表情で記録更新に臨んだ。

作業後はギネス世界記録の公式認定員・マクミラン舞さんが審判。見事1回目ですべてを超えた1160匹を

まつりから

農林中央金庫は9日、大船渡市におけるさんまの販売力強化に向けた取組みに対

農林中央金庫は9日、大船渡市におけるさんまの販売力強化に向けた取組みに対

きれたに並べ、357・22万円。20
に三重県鳥羽市で記
した1000匹(タ
の千羽)を更新した
記録達成の報告
参加者らは、やっ
と敬喜を上げ、拍
手祝賀。自ら並べ
マは終了後に焼
べたり、土産とし
ち帰った。

三陸町吉浜から参
した阿崎海樹君(小
6年)「近海町4年
海賊(うし)の(うし
年長君)のきよう
も、世界記録達成
に、支援金100万円
を贈った。支援金
の運営に充てられ
て、まっりの関係
者は感謝、今後の
活性、市の復興に
活いていくと誓った。

同金庫では、東日本
大震災で甚大な被害を

年 挑戦したけど、みんな
録 で協力して世界キネマ
イ をとれてうれい」
に、 匠海君は「世界キネマ
をれてすこいなど」と
に、 参加できてうれい
で、 と話していた
ン 新企画の「大漁旗
食 テスト」では市内
持 小学生がデザインし
加 一次審査を通過した
点 を大漁旗にしてマ
示。来場者などにも小
投票の結果、綾里小
年の村上英紀君の作品
が最高賞の金賞に選
れた。

市の取り組みに費用助
成を行うことを決め
た。

贈呈式は、同まつりの
の開催式に先立ち実
施。農林中央金庫仙台
支店の榎本浩吉支店長
は「まつりを通じて、
大船渡のさんま、さん
まのまち・大船渡を広
めていくよう期待す
る」とあいさつし、ま
つり実行委の佐々木英
一 会長、戸田公明市長
に目録を手渡した。

まつりから地域活性を

農林中央金庫
大船渡市に支援金贈呈

農林中央金庫は9
大船渡市における
元々の販売力強化に
けた取り組みに対
を贈った。支援金は三
陸大船渡さんままつり
の運営に充てられてお
り、まつりの関係者ら
は感謝し、今後の地域
活性、市の復興につな
げていくと誓った。

同金庫では、東日本
大震災で甚大な被害を

贈呈式は、同まつりの開催式に先立ち実施。農林中央金庫仙台支店の榎本浩二支店長は「まつりを通じて、大船渡の皆さん、さんまのまち・大船渡を広めていくよう期待する」とあいさつし、まつり実行委の佐々木英一会長、戸田公明市長に目録を手渡した。

被災支援に感謝の歌声

東日本大震災の被災地、岩手県大船渡市を音楽の力で応援しようという演奏会が6月1日、友好都市でもある相模原市で開かれる。大船渡市出身のシンガー・ソングライター・濱守栄子さんと同市の応援歌を歌う女性グループ「XUXU（しゅしゅ）」の「さんりく・大船渡ふるさと大使」2組が招かれ、支援への感謝と復興への歌声を披露する。

濱守さんが震災後に発表した曲は、故郷の美しいリアス式海岸を縫って走り、津波で大きな被害を受けた「国道45号線」。青春の思い出、大切な人を失った悲しみ、未来への夢……。わだかまった胸の内を歌詞



XUXU（主催者提供）

友好都市・相模原で来月1日コンサート

岩手・大船渡の「大使」2組が出演

に込めた曲は岩手県トラック協会のCMソングに採用された。売り上げの半分は被災地へ寄付している。

XUXUは、独自のスキヤットとアレンジで、多くのジャンルをアカペラで歌い上げる。全国の自治体にPRソングを提供していて、震災後の大船渡市を応援する「camelias 椿のうた」を制作、CDの売り上げは全額、市に寄付している。

演奏会名は「外出支援 紫陽花コンサート」。高齢者や障害者らも外出を楽しめるよう、客席中央に車いす席が用意されている。地元からは手作りのオカリナで演奏する旧弥栄東高校PTAらの「ラ・オカリナY」も出演する。公演は1日午後2時から、橋本駅北口のミウイ橋本7階「杜のホール」で。前売り1800円（当日2千円）。問い合わせは主催の実行委（080・5943・0602）。

（山元一郎）

XU XUの歌声満喫

クリスマスライブ開く

大船渡で

「さんりく・大船渡
ふるさと大使」を務め
るアカペラユニット、
XUXU（じゅじゅ）
によるクリスマススベ
シャルライブが20日
夜、大船渡市盛町のリ
アスホールで催され、
来場者たちは澄んだ歌
声に聞き入り、一足早
いクリスマスモードを
満喫した。

XUXUは国立音楽
大出身のyukikoと
yumiと、asukaと

ん、motionさんの女性
4人組で、平成14年に
メジャーデビュー。ク
ラシック、ジャズ、民
族音楽など幅広いジャ
ンルを歌う。平成21年
初開催の東京タワーさ
んままつりを縁に、さ
んりく・大船渡ふるさ
と大使の委嘱を受け
た。「オラ！サン

「Camellia」梅のうた〜」を提供するなど、PRに役買っている。

この日のライブは市が主催、同市観光物産協会が後援して開かれたもので、市民ら約70人が来場。この春からnorikoさんはソロ活動に専念しているとい

い「yukiとyumiさん、asukaさんの3人でステージが上がっ

た
1曲目は10月発売の
ニューアルバム「The
deXUxU」から、ジ
ヤズ風アレンジの「八
木節」を披露。クリス
マスソングや歌謡曲の
メドレー、「スパイ太
作戦のテーマ」「アメ
ーシング・グレイス」
など、多彩なジャンル
でハモニーを響かせ
た。
「オラ！サンマー！」
「Camellia」様のうた
も。今年9月の東京
タワーさんままつり
に合わせ、歌で大船渡
にエールをと「XUxU
アップしプロシエク

ト」を立ち上げ、着々と活動している。トータルで約1000人、同曲を合唱したことも紹介した。

来場者たちは、猪川町のカフエマリゾーによるコーヒータンゴや紅茶を飲みながら、XU XUの歌の世界にゆったりと浸っていた。

XU XUは震災後、市と市観光協会の協力により、アルバム売上金などを募り続けており、今回の来場でも戸田公明市長らに寄託。合計金額は100万円を超えており、恵の長い支援を誓っている。

XU XUは国立音楽
大出身のYUKIさん、
YUMIKOさん、ASUKAさん
歌声のプレゼントを届
けたXU XU リアス
ホール

ん、asukaさんの3人でステージに上がった

にエールをと「XUX
Uっぺしプロジェク

えており、鷹の長い支
援を誓っている。



活気呼ぶ 地元開催

市内外から1万2000人

基幹産業
復旧PR
2年ぶり「さんままつり」
大船渡



まつりの目玉となった炭火焼き2500匹の無料提供。来場者が長い列を作り、焼きたてのさばしさを堪能。三アスホール

第20回「陸奥産物まつり」(船舶振興振興会主催)は21日、市の三アスホールで開かれた。震災後水産物販路の回復は地元開催のイベントに注目を集めたが、地元では震災の影響で、天候も恵まれ市内外から約1万2000人、全盛時の姿が揃い、賑わいを呼んだ。炭火焼きは、大船渡産のさんまを約2500匹、無料で提供した。震災の影響で、市内のさんまの消費量は、震災前と比べて約半分に落ちた。震災の影響で、市内のさんまの消費量は、震災前と比べて約半分に落ちた。震災の影響で、市内のさんまの消費量は、震災前と比べて約半分に落ちた。

震災の影響で、市内のさんまの消費量は、震災前と比べて約半分に落ちた。震災の影響で、市内のさんまの消費量は、震災前と比べて約半分に落ちた。震災の影響で、市内のさんまの消費量は、震災前と比べて約半分に落ちた。

震災の影響で、市内のさんまの消費量は、震災前と比べて約半分に落ちた。震災の影響で、市内のさんまの消費量は、震災前と比べて約半分に落ちた。震災の影響で、市内のさんまの消費量は、震災前と比べて約半分に落ちた。

震災の影響で、市内のさんまの消費量は、震災前と比べて約半分に落ちた。震災の影響で、市内のさんまの消費量は、震災前と比べて約半分に落ちた。震災の影響で、市内のさんまの消費量は、震災前と比べて約半分に落ちた。



東海新報2012年10月25日付

活気2年ぶり

1万2000人が句堪能
大船渡さんままつり



2年ぶりの開催となったまつり。開閉を告げて盛大に祝いのもちまき。三アスホール



大船渡 応援続ける

XUXUが見舞金

大船渡ゆかりのアカベラカルテット「XUXU（しゅしゅ）」は21日、戸田公明市長と同事務局長の齊藤俊明会長に対し、「まちの復興や観光振興に役立ててほしい」と、CDの売り上げを元にした見舞金を届けた。

さんりく・大船渡ふるさと大使でもあるXUXUは、「オラ！サンマ！」に加え、昨年3月に予定されていた椿サミットに合わせた発表した「camellia」椿

のうた」など大船渡のPRソングを歌っており、震災後はこれらCDの売上金から経費を差し引き、義援金や見舞金として贈り続けている。

同日、メンバーは2年ぶりの開催となった「三陸・大船渡さんままつり」に出演。ステージでは「オラ！サンマ！」も披露し、盛り上げに役買った。市に対しては5度目の寄託で合計金額は110万円余りに至ってお



り、「これからも大船渡を応援していきたい」とこわやかな笑顔を見せていた。

戸田市長と齊藤会長に見舞金を届けるXUXU

岩手日報 2011 年 4 月 20 日付

【大船渡】椿のテーマで復興後押し ふるさと大使XUXU

大船渡市 復興住宅 三陸復興 大船渡市 災害支援 支援

大船渡市のふるさと大使を務める東京のアカベラカルテットXUXU（しゅしゅ）は、同市の復興を支援するCDの販売を始めた。3月に大船渡で開催するはずだった全国椿（つばき）サミット三陸・大船渡大会テーマソングを含む3曲入り。XUXUの4人が愛する大船渡の町を離れて買い取り、売り上げは市へ全額寄付する。

XUXUは2002年にメジャーデビューした女性4人組。メンバーのyumi（ユミ）さんの祖父が気仙地方出身という縁などから「さんりく・大船渡ふるさと大使」に委嘱されている。

CDに収録したのは全国椿サミットテーマソング「camellia（カメリア）～椿のうた～」、同市のホームページで使用されている「ようこそ大船渡へ！」、大船渡サンマソング「オラ！サンマ！」。

もともと、このCDは3月19、20の両日、椿サミットで配布する目的で、11日に大船渡に届く予定だった。しかし同日、東日本大震災が発生。CDの行方も分からなくなった。

メンバーはCDを携し、3月30日に全千枚の義事を確認。全て無償だったことに、新たな希望を抱いた。「この作品を大船渡の復興支援に役立てたい」と全てを市観光物産協会から買い取り、売り上げを全額寄付することにした。

XUXUは「花びらは手をつないで 輪になって支え合う 春を運ぶその日まで 咲き誇れ椿」と歌う。

市観光物産協会の新沼信男事務局長は「椿の花のようにスクラムを組んで、歌を聞きながら復興に向けて頑張っていきたい」と語る。

yumiさんは「大船渡の人の温かさと美しい街が好きだったが、津波でひどい映像ばかり流れて悲しかった。椿の歌を通して大船渡のいいところを発信したい」と語る。

CDは1枚千円。販売に関する問い合わせはXUXUの電子メール（info@xuxu442.com）へ。市観光物産協会でも販売している。

【写真＝大船渡市を支援するための販売されているXUXUのCD】



津波免れつばみ膨らむ 日本最古、大船渡のツバキ

2011年4月1日



つばみをふくらませる「大船渡の三面椿(つばき)」から南の海岸を望むとがれきの山が広がる。大船渡市末崎町

大船渡市末崎町の熱野神社にある日本最古のツバキで県天然記念物の「大船渡の三面椿(つばき)」が津波の被害を免れ、赤いつばみを膨らませている。あの日、小高い丘の中腹にある境内の隅隅まで津波が押し寄せ、周辺の民家を破壊した。近隣住民は地盤のシンボルになっている神社に逃げ、命を救われた。

「同市内の『世界の椿館・椿石』も休館が続く。林田館長は「雨」がこんな状況では、花を見る人もあまりいないかもしれない。ただ、ツバキは潮に強い植物で、自生している木への影響は大きくないという。一時は枯れるのを覚悟した大温室内のツバキも、農協が水を運んでくれてことなきを得た。

例年より遅れているが、市の花でもあるツバキは、再建へ向けてまもなく花を開かせる。(菊池敏雄)

椿愛する全国の人々に XUXU が楽曲提供サミットに合わせ制作

3月19(土)、20(日)の両日に大船渡市内で開催される全国椿サミット三陸・大船渡大会に合わせ、同市のふるさと大使を務めるアカペラユニット・XUXU(しゅしゅ)が「camellia～椿のうた～」を制作した。歌詞には花卉が重なり合って咲くツバキの姿から発想を広げ、人々が支え合う大切さなどを込めた。大船渡の新・スナPRソングとして、今後の多彩な活用が期待されている。さんりく・大船渡ふるさと大使も務め、市内の名所を巡るなど、観光振興への意欲にも溢れている。親交が深い市観光物産協会などが「サミットに合わせて楽曲を作ってほしい」と打診していた。楽曲はメンバーの一人で、親族に気仙出身者がいるというyumiさんが作詞・作曲を担当。赤と白それぞれに付けられている花言葉や、末崎町にある三面椿なども歌詞に織り込んだ。重なり合うツバキの花弁からイメージを広げ「ツバキを愛する人々が手をつなぎ、輪になって支え合ってほしい」といったメッセージが含まれているという。可憐に咲く花と同様、さりげなく「椿のまち・大船渡」をPRする内容となっている。

声だけのアカペラでアレンジされた楽曲は、14日に市内で行われた椿サミット実行委会合の場で初めて披露された。関係者は、情感豊かなメロディーと透明感溢れる4人のハーモニーに聞き入った。披露後は拍手がわき起こり、早くも気に入った様子。イベントでは開催後の盛り上げ継続も課題とされるが「小中高生の合唱ソングとして広がってくれば」といった期待の声も寄せられていた。サミットに合わせ「オラ！サンマ！」なども収録したCDを製作し、全国各地から予想される来訪者に贈呈・販売することでイベント成功につなげたい考え。XUXUは来月19日にリアスホールで行われるサミットのオープニングに登場し、楽曲披露を予定している。

今後の楽曲使用は、市観光物産協会側に任せられているという。同協会では「心温まる楽曲を制作していただき、うれしい限り。この楽曲を生かし『椿のまち・大船渡』をさらに発展できるコラボレーションが生まれてくれれば」と話している。国内外でステージに立つ4人組のXUXUは、大船渡産サンマをPRするアカペラソング「オラ！サンマ！」を制作し、その後も市内の各種イベントに参加。昨年8月には市民文化会館・リアスホールで単独ライブを行い、好評を博した。

歌でつながれ椿の里 19日開幕の「大船渡サミット」

ツイートする

大船渡市のふるさと大使を務める東京のアカペラカルテットXUXU(しゅしゅ)は19、20の両日、同市で開催される全国椿(つばき)サミット三陸・大船渡大会(実行委主催)のテーマソングを制作した。「camellia(カメリア)〜椿のうた〜」と題し、ツバキの魅力を上品に歌い上げる。気仙ゆかりの歌手が「椿の里・大船渡」を全国にアピールする歌は、19日のサミットで披露される。

「camellia」はメンバーのyumi(ゆみ)さんが詞・曲を担当。「全国各地の人が地域の偏りなくツバキを思い浮かべられるように」と、品種やルーツなどを研究して歌詞を書いた。

「花みらは手をつないで 輪になって支えあう」などツバキの細部までこだわる詞。3番目は大船渡市末崎町にある樹齢1400年の「三面椿」も登場する。美しいハーモニーと親しみやすいメロディーが印象的で「味き誇れ 椿」と結ぶ。

XUXUは2002年にメジャーデビューした女性4人組。「しゅしゅ語」という独自のスクヤットで、幅広いジャンルを歌う。ジャズ界での評判が高く、海外ツアーも行う。

yumiさんの祖父が気仙地方出身という縁で09年、大船渡サンマソング「オラ！サンマ」を発表。「さんりく・大船渡ふるさと大使」に委嘱され、市のPRソングも手掛ける。

yumiさんは「ツバキの花みらのように、みんなが手を取ってつながれることを願っている。初披露のサミットでは心を込めて演奏したい」と語る。

女優浜美枝さんの記念講演なども予定される同サミットは、19日午後1時半から同市盛町のリアスホールで開催。XUXUはオープニングに登場する。入場無料。13日午前9時から市役所で入場整理券を配布する。

(2011/03/10)

東海新報2009年11月20日付

東海新報2010年7月4日付

東海新報 平成22年7月4日

XUXUの歌でPR ホームページのBGMに

大船渡市



PRソングを制作したXUXUのメンバー

大船渡市は、ふるさと大使を務めるXUXUのメンバーが、ホームページのBGMに「オラ！サンマ」を流すことになった。XUXUは、大船渡市をPRするための活動の一環として、このソングを制作した。メンバーは、大船渡市の魅力を伝えるために、このソングを制作した。メンバーは、大船渡市の魅力を伝えるために、このソングを制作した。

大船渡市は、ふるさと大使を務めるXUXUのメンバーが、ホームページのBGMに「オラ！サンマ」を流すことになった。XUXUは、大船渡市をPRするための活動の一環として、このソングを制作した。メンバーは、大船渡市の魅力を伝えるために、このソングを制作した。

東海新報 平成21年11月20日

サンマが縁で委嘱 さんりく・大船渡ふるさと大使 委嘱状交付式

大船渡市は19日、新たなさんりく・大船渡ふるさと大使として、XUXUのメンバー4人に委嘱状を交付した。

「オラ！サンマ」を披露したXUXUのメンバー＝大船渡市役所

大船渡市は19日、新たなさんりく・大船渡ふるさと大使として、XUXUのメンバー4人に委嘱状を交付した。XUXUは、大船渡市をPRするための活動の一環として、このソングを制作した。メンバーは、大船渡市の魅力を伝えるために、このソングを制作した。

大船渡市は19日、新たなさんりく・大船渡ふるさと大使として、XUXUのメンバー4人に委嘱状を交付した。XUXUは、大船渡市をPRするための活動の一環として、このソングを制作した。メンバーは、大船渡市の魅力を伝えるために、このソングを制作した。